

会議資料3 基本方針を踏まえた修正内容

1. 修正箇所について

修正箇所は以下の通りです。

< 「明日の熊野川整備のあり方(案)」 赤字：修正箇所 >

はじめに	1
熊野川流域の概要	2
流域の現状と課題	7
1. 治水の現状と課題	7
1.1 現状【椎葉委員長】【藤田委員】	7
1.2 課題	10
(1) 目標流量の設定【間瀬委員】	10
(2) 段階整備【椎葉委員長】	11
(3) ダム貯水池群の運用の基本的考え方【吉野委員】	12
(4) 山林管理、治山の総合的推進	13
(5) 浸水被害の軽減のために(ソフト対策 ハード対策【藤田委員】)	15
(6) 流砂河床変動、海岸侵食【藤田委員】	17
(7) 地震・津波にそなえる	20
(8) 流域連携とソフト対策	21
2. 利用・利水の現状と課題	22
2.1 現状【木本委員】	22
2.2 課題	23
(1) 都市用水の動向	23
(2) 農業用水の動向	24
(3) 発電用水の適正な運用【木本委員】	25
(4) 観光舟運の活性化	27
(5) 漁業【木本委員】	28
(6) 正常流量(追加)【木本委員】	29
3. 自然環境の現状と課題	30
3.1 現状【高須委員】	30
3.2 課題	33
(1) 濁水の長期化対策	33
(2) 水質の劣化(大腸菌対策)・下水処理施設の整備	34
(3) 流砂と河川形状および河川敷と河岸の植生管理【瀧野委員】	35
(4) 生息生物(植物・魚類)の把握と外来魚対策	36
(5) 地域特性を活かした多自然川づくりの推進	37
4. 社会環境の現状と課題	38
4.1 現状	38
(1) 地域振興	38
(2) 歴史・文化【山本委員】	40

(3) 景観	42
4.2 課題	44
(1) 地域振興	44
流域の産業振興と経済基盤の強化	44
地域を持続的に維持・管理する担い手の確保と育成	48
流域住民の交流・連携の強化	49
(2) 歴史・文化	50
歴史と伝承の調査	50
歴史文化の継承方策	51
資産の保全と復元	52
魅力発信の手だて	53
ふさわしい川づくりの理念を	54
(3) 景観	55
人工構造物の景観整備	55
クリーンな熊野川	56
自然林の保全と復元	57
世界遺産にふさわしい景観形成	58
整備計画の策定に向けて	59
1. 熊野川のあるべき姿と目指すべき方向について	59
2. 整備計画原案策定における留意点	60
(1) 治水における留意点	60
(2) 利用・利水における留意点	63
(3) 自然環境における留意点	64
(4) 社会環境における留意点	66
(4) 猿谷ダムに関する留意点	68
まとめ	69

2. 修正内容について

修正箇所は、会議資料2「明日の熊野川整備のあり方(案)」の文中に、以下の方法で示してあります。

< 会議資料2における修正箇所 >



: 全体修正箇所



: 部分修正箇所(追加・修正)